

## 研究会セミナー「小型センサーの開発動向と環境への応用」のお知らせ

2016年1月に政府が出した第5期科学技術基本計画では、ICT (Information and Communication Technology) を最大限に活用した”超スマート社会「Society 5.0」“を実現することを掲げており、その基盤技術の1つに「センシング技術」が挙げられる。「センシング技術」は、地球環境や居住空間などの環境計測のみならず、製造加工や食料生産といった工場においても労働者の安全管理や育成環境の維持など、その重要性が高まってきている。当学会のエアロゾル計測分野でも近年では、従来の大型装置と同等の性能を持った小型で簡便な可搬型装置が数多く開発されている。一方、従来から環境計測に使用されている半導体センサー等の薄膜型センサーにおいても小型化や複合化が進行しており、今まで使用されなかったような分野でも使用されるようになってきた。そこで本セミナーでは、環境センシング技術としての半導体センサーの開発動向とともに、センシング機器としてのエアロゾル計測機器の変貌や植物工場でのセンシング事例について話題提供を頂き、今後の各種環境におけるセンシング技術について研究会として活発な議論を行いたく、研究者や企業の技術者、学生を含む皆様に広く参加を頂きますようお願い申し上げます。

日時：2018年3月14日（水）14時30分～17時00分

場所：工学院大学 新宿校舎 10階 A1012 教室（東京都新宿区西新宿 1-24-2）

新宿校舎へのアクセスは以下の URL を参照して下さい。

<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

内容：0. 開会の挨拶と研究会の趣旨説明（14:30～14:40）

並木 則和（研究会代表・工学院大学）

1. センサーの複合化による利用拡大と将来展望（14:40～15:20）

加藤 喜美子 氏（フィガロ技研株式会社）

2. 粉じん計の変遷と小型化によるリスク管理への応用（15:20～16:00）

霜村 浩一 氏（柴田科学株式会社）

休憩（10分）

3. 植物生体計測への挑戦（16:10～16:50）

鹿島 光司 氏（株式会社朝日工業社）

4. 総合討論（まとめ）（16:50～17:00）

参加費（資料代）：個人会員・法人会員 500円、非会員 1,500円（当日徴収します）、学生 無料

参加申込：3月7日（水）までに電子メールにて、以下の情報を記入してお申し込みください。

申込先：EATIA研究会 幹事 関口 和彦（埼玉大学）E-mail: [kseki@mail.saitama-u.ac.jp](mailto:kseki@mail.saitama-u.ac.jp)

\*\*\*\*\*

### セミナー参加申込書

ご氏名：	
ご所属：	
ご所属住所：〒	
Tel： - -	Fax： - -
E-mail： @	
会員種別（いずれかに○を付けて下さい）： 個人会員・法人会員：¥500      非会員：¥1,500      学生：無料	
備考：	